

## 新着案内



『愛ちゃんのモテる人生』	宇井 彩野/著	河出書房新社	T/ウア
『神の蝶、舞う果て』	上橋 菜穂子/著	講談社	T/ウナ
『一富士茄子牛焦げルギー』	たなか しん/作 絵	BL出版	T/タシ
『13歳からの概念思考』	戸谷 洋志/著	大和書房	T104/トヒ
『旅する世界史教室 80カ国をめぐる元添乗員の予備校講師が教える』	山本 直人/著	かんき出版	T204/ヤナ
『なんで人間にはしっぽがないの? 二度の喪失の物語』	東島 沙弥佳/著	新泉社	T481/トサ
『レングス別おしゃ可愛へアカタログ』		主婦と生活社	T595/レン
『ねこまみれ帳』	ミロコマチコ/著	ブロンズ新社	T645/ミロ
『哲学なんていない哲学』	あの/著	KADOKAWA	T767/アノ
『AIに書けない文章を書く』	前田 安正/著	筑摩書房	T816/マヤ
『緋弾のARIA』 44	赤松 中学/著	KADOKAWA	TB/アチ
『クローバー』	ナ ヘリム/著	講談社	TF/ナヘ



### ティーンズのココロ通信

令和8年3月1日 発行

Eメール : [info@lib-yama.jp](mailto:info@lib-yama.jp)

HP : <https://www.lib-yama.jp>

山口市立中央図書館 267号

〒753-0075 山口市中園町7-7

TEL : 083-901-1040

FAX : 083-901-1144

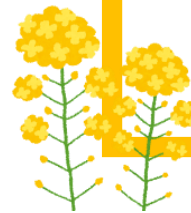


# 春来たる



今月のテーマは「春来たる」です。

春は出会いと別れなど大きな変化のある季節です。みなさんも進学や進級で様々な変化に向け、期待や不安でソワソワしているのではないのでしょうか。今月はそんな季節にぴったりの本を紹介しています。心を落ち着けて読書してみませんか？



●『さくら坂』

千葉 朋代／作 小峰書店 T／チト

美結は足が長いのが自慢の高校2年生。新学期早々、放送部のコンテストに向けて充実した日々を送っていました。ところが、そんな彼女にまるで災難が降りかかるように骨肉腫(骨にできるガン)が見つかり、担当医に右足の膝から下の切断を提案されます。あまりの事に戸惑う美結でしたが、葛藤の末それを受け入れ、気持ちを整理するためにあることを決意します。そして次の春が巡って来た時……。人のやさしさと強さを感じる作品です。(H.S)

●『和の色洒落色』

おおた うに／著 メディアファクトリー T757／オウ

みなさんは春が来るとどんな気分になりますか？春が来ると嬉しい気分になる人もいるのではないのでしょうか？この本は著者おおたうにさんが、春夏秋冬に分類した和の色と、その色にまつわるエピソード、季節にまつわる小物の写真が載っている本です。イラストも和の色名もとっても綺麗。春の色は珊瑚色(さんごいろ)、萌黄色(もえぎいろ)、桜色(さくらいろ)、浅葱色(あさぎいろ)などパステルっぽく鮮やかな色が多いです。どのページも素敵で女子力がアップしますよ。(C.M)

●『エチュード春一番 第1曲 子犬のプレリュード』

荻原 規子／著 講談社 B／オノ

大学生になる春、家族は父の仕事の転勤でロンドンに移住したため、一人日本に残ることになった美綾。進学した大学は、通っていた中高一貫の女子高の友達もいない環境の中、家に迷い込んできたパピヨンの面倒を見ることに。しかも、そのパピヨンは「わしは八百方の神だ」と名乗る。「人間の感覚を勉強中」の超現実主義の神様との共同生活が始まる。春は環境が大きく変わる季節。困難もありますが、糧にすることで自立にもつながっていくことを教えてくれる物語です。(K.O)

●『君に伝えたいこと 15歳の人生レッスン』

姜 尚中／著 自由国民社 T159／カサ

この本は、政治学者で思想家でもある姜尚中さんから思春期のみなさんへのメッセージです。「あまり自分探しに、汲々としないう方がいいよ」「生きている実感がビンビン響かないのは、むしろ当然のことなんだ」穏やかに語りかけるような文章は読むほどに心にしみませす。『夜と霧』(ヴィクトール・E.フランクル/著)『三四郎』(夏目漱石/著)など引用された本も是非読んでみて下さい。春3月、卒業や進級を控えたみなさんにお勧めの1冊です。(H.S)

●『グリーン グリーン』1

あさの あつこ／著 徳間書店 T／アア

春は出会いの季節です。新しい出会いが待っています。主人公は新米国語教師・翠川真緑、あだ名はグリーン・グリーン。彼女は失恋した時に食べたおにぎりが美味しくて立ち直れたことから、東京から離れた農業高校の1年生の教師として赴任します。個性豊かな生徒たちや、先輩教師、話ができる豚……。農業のことを全く知らない、そんな都会育ちの彼女が先輩教師や生徒たちに助けられながら成長していくお話です。読んだ後は爽やかな気分になれますよ。(C.M)

●『一生忘れられない言の葉図鑑 気持ちを言語化する美しい詩と写真』

浅夏 レイ／著 KADOKAWA T814／アレ

「言の葉収集家」の浅夏レイによる、言の葉とそれにまつわる詩と写真を載せた一冊。「春愁」や「花曇り」など普段あまり耳にしないけど、美しい日本語が存在します。それは、昔の人々が四季、色、天気、感情などその美しい一瞬を言語化してきたから。この本では、春を表す言葉も紹介されています。春という一つの季節でも気温、細かな情景を表す言葉が多く存在しています。今一度、日本語の美しさにつれて、言葉について考えてみませんか？(K.O)